

2023年度 自主事業の紹介



武豊町民会館 館長
竹本 義明

コロナ感染症の拡大により文化芸術事業の運営が影響を受けて3年になる。5月から感染症法で2類相当の扱いを5類に引き下げることが決まり、5類移行に先立ち大規模イベントの収容人数制限を緩和し、収容定員の50%としてきた制限の撤廃を決めた。

2022年2月にロシアによるウクライナ侵攻があり、長期化によって世界情勢が不安定になっている。エネルギーや原材料価格の高騰で日本にも記録的な物価高をもたらし、生活への影響が続いている。

2023年2月にトルコ・シリア地震が起き大きな被害が出ている。日本では100年から150年周期で繰り返されてきた南海トラフ地震への警戒が叫ばれている。災害への備えとともに、災害によって被る被害とともに、精神的ケアについての取組みが必要とされている。

社会的な課題として、ジェンダーによる男女差別をなくすることが、全世界の課題となっている。また、障害者の自立と社会参加の支援を推進することが求められ、心身の障害により生活に制限を受けている障害者の才能を生かすことが必要とされている。このような課題に芸術分野の可能性が指摘されている。

最近、年間の出生数が80万人割れとなると報道があった。若年労働力の減少により経済成長力が下がり、現役世代が支える年金や医療などの社会保障制度が揺らぐことが危惧されている。

そのような社会状況の中、2月18日から1か月間開催した「武豊春の音楽祭2023」は、コロナ感染症が収束に向か

う中で、停滞していた芸術鑑賞活動が実施され、多くの来場者に楽しんでいただいた。

2023年度事業は、ゆめたろうプラザに定着した「サロンコンサート」5公演に加え「人形劇団ひとみ座『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』」「山崎まさよし Premium Live in TAKETOYO」「ゆめたろう寄席」「『ピアノの森』ピアノコンサート」「劇団四季ファミリーミュージカル」「YAMATO String Quartet」「オーケストラ・アンサンブル金沢」「まつプロ『父と暮らせば』」などが予定されている。

芸術と科学のハーモニー事業は「映像メディア」事業、「レゴ・ロボット製作教室」事業、「天文・宇宙関連」事業、「ものづくり教室」事業、レクチャー事業、「ゆめホテル」アウトリーチ活動等が計画され、他にも「モーニングコンサート」「武豊町絵画展」「武豊町文化協会芸能祭」「武豊町民文化祭」「武豊町民劇団TAKE TO YOU」定期公演、「Swing Band TAKETOYO」定期公演などが予定されている。

産業界においてリカレント教育が叫ばれる中、実際に教育を受けなくとも、ゆめたろうプラザの事業鑑賞のため「ゆめプラメイト」に入会したり、「フロントスタッフ」「ダ・ヴィンチスタッフ」「情報スタッフ」など、ゆめたろうプラザのボランティアとして事業との関係を持つことが、学び直しのきっかけとなると考えている。

地域の皆さんが自分の世界をひろげ、ゆめプラスタッフへ参加することでみんなとつながり、まちづくりに貢献していただけることを願っている。



山崎まさよし



ふしぎ駄菓子屋銭天堂



柳家喬太郎